

柳城

R y u j i o

柳城学院報

第59号

発行所：学校法人 柳城学院

〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54
TEL.052-841-2635 FAX.052-841-2697

発行者：洪澤 一郎

2014年7月1日



1913(T2)年 柳城幼稚園の庭

建学の精神 「愛をもって仕えよ」

目次

理事長からのメッセージ	2
学長からのメッセージ	3
聖書のことば	4
1・2年生学外合同ゼミナール「夢ゼミ」	4
第3回東日本大震災 復興支援ボランティア活動の恵み	5
大学間連携共同教育推進事業 「保育コンソーシアムあいち」	5
マーガレット・ヤング基金のご報告	5
紙芝居プロジェクト ―紙芝居が育むもの― 短大3号館 落成のご報告	6
2013年度就職状況	7
図書館情報	7
2015年度入試情報	8
学院人事	8
役員人事	8
後援会ニュース	9
同窓会ニュース	9
附属柳城幼稚園	10
附属豊田幼稚園	11
附属三好丘聖マーガレット幼稚園	12
2013年度会計報告	13
新任教職員紹介	14
退職にあたって	14
柳城祭	15
りゅうじょうこどもフェスタ	15
オープンキャンパス	16
附属幼稚園情報	16
特別給付奨学金表彰式	16

戦時中のカナダ人宣教師の貢献：

“愛をもって仕える”

はじめに

新年度も3ヶ月が過ぎ、大学生生活も軌道に乗って来た頃ではないかと思えます。3月には3号館も落成し、充実した環境のもと学生生活を送っていただけたことと思っております。どうぞがんばってください。

また、各幼稚園におきましても新入園児たちも幼稚園に慣れ、楽しく幼稚園生活を送っていることと思えます。十分に自分を發揮して成長してほしいと願っています。

創設者ヤング先生とカナダ聖公会
さて、柳城学院は1898年(明治31)、カナダ聖公会宣教師のマーガレット・ヤング先生によって創設されましたが、その後、戦時中を除き1970年(昭和45)まで70年近くにわたって様々な形でカナダ聖公会は柳城を支え続けてくれました。

創設者のヤング先生は1922年(大正11)、柳城保母養成所の

校長を退職されカナダに帰国されました。しかし、日本への思いは断ちがたく、1936年(昭和11)と1939年に再来日され、1940年、84歳で名古屋で逝去されました。ヤング先生は今、八事の墓地に眠っておられます。柳城では毎年11月1日の創立記念日には墓参をされています。皆さんもぜひ参加してください。

宣教師の帰国と戦時中の貢献：

日系人への援助

今回、学院報を通して皆様にお伝えしたかったことは戦争中の柳城関係の宣教師の方々のことです。先ほど、カナダ聖公会は「戦時中を除き」柳城を支えてくれたと書きましたが、実は、カナダ聖公会の宣教師たちは「戦時中も」日本人を助けてくれたのです。

ヨーロッパで第二次世界大戦が始まり、また、日本でも戦争の危機が高まってきたことに伴い、カナダ聖公会の宣教師は1940年

(昭和15)年の終わりまでにはほとんどの方々が帰国されました。柳城関係の宣教師の方々も同じでした。帰国せざるを得なかったというのが実情です。(ヤング先生が戦争を見ないで逝去されたことにはある意味では幸いだったのかもしれない。)

そして、1941年(昭和16)12月、太平洋戦争が始まりますとカナダと日本とは敵同士になり、カナダ在住の日系人は強制的に収容所に収容されました。わたしは昨年の8月、カナダのバンクーバーを訪れる機会がありました。その時、戦争中のカナダ人宣教師の美しい働きに触れることができました。

バンクーバーにはたくさんの日系人が住んでおり、教会もありましたが、全員、家を放棄させられてカナダ内陸部に移住させられ、収容所生活を余儀なくされました。その時、その収容所に行って日系人を助けたのが戦争のため帰

国していたカナダ聖公会の宣教師たちでした。

そのカナダ聖公会の宣教師の方々、殊に、ヤング先生の後任として柳城保母養成所の校長をされたポーマン先生、戦後、短大になった柳城の初代学長に就任されたホーキンス先生、附属幼稚園の園長であったハロビン先生たちは様々な形で収容されていた日系人のために奉仕されたのです。収容所内に幼稚園、小学校、高校を組織し、子供や生徒たちの教育を行い、教会の礼拝や生活面での援助を惜しまなかったのです。

宣教師の人たちは戦争のため、いわば日本を追い出された人たちです。言ってみれば、日本人は「敵」でした。しかし、先生たちは日本人を敵とは思わず逆に「友」として「隣人」として助けてくれたのです。

愛をもって仕える

柳城の建学の精神は「愛をもつ

理事長
洪澤 一郎



て仕えよ」です。この「愛」とはイエス・キリストが教えておられる「隣人を自分のように愛する愛」「敵をも愛する愛」のことです。柳城で働かれた宣教師の方々はその愛を実践されました。柳城のために愛をもって仕えてくれただけではなく、戦争という敵をも愛せない状況の中で愛をもって日本人のために仕えてくれたのです。わたしはその働きに接して本当に宣教師の方々の信仰(精神)の素晴らしさに胸を打たれました。

柳城にはその精神が脈々と流れています。どうか皆さんも「愛をもって仕える」という精神を胸に抱きつつ勉学に励んでください。

名古屋柳城短期大学の改革課題

— PDCAサイクルにもとづいた改革を —



学長 新海 英行

本 年度早々に標記の改革課題が決定されました。本学のさらなる活性化・発展のために短期ないし中長期的にぜひ成し遂げたい課題です。現在、将来計画委員会がこれらの課題の実施計画を作成中です。本学の総力をあげて取り組みますので、柳城にご関係のある皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

- 1、建学の精神に基づく学園づくり(短期～中長期)
 - ・ 柳城の長い歴史の中で培われた伝統と校風にふさわしい人づくりと学校運営の構築
 - ・ 自立した市民・社会人にふさわしい教養と品格の育成、保育者及び介護福祉士としての専門性と職業的基礎能力の育成
 - ・ 個人の尊厳、人権の尊重、品格ある言動を規定する倫理綱領の制定・遵守
- 2、日本短期大学基準協会による評価(当面)
- 3、短大・2大学による連携共同教育事業(保育コンソーシアムあいち)の推進(当面・短期)
 - ・ 保育に関する当事者(子ども・父母・保育者)の願い・要求と社会的政策的(特にステークホルダー)ニーズ、さらに国内外の保育者養成の実態等についての調査分析
 - ・ 上記の調査分析にもとづいて幼児保育一体化体制下の養成校教育(特に保育者の専門性と教育課程)のあり方の解明↓本学の歴史的伝統と個性をふまえ、社会的ニーズに 대응するカリキュラム開発を試行
 - ・ 学内外のFD・SDの積極的・日常的取組(授業観察・授業研究、共同研究・研修)
- 4、地域貢献(College of Community)を目標に始動(短期～中期)
 - ・ 地域子育て支援事業(キッズルーム)を整備し、活動を開始
 - ・ 子育てセミナー、公開講座に着手し、さらに子育て相談事業を拡充
 - ・ 紙芝居を中心に幼児教育研究所の役割を強化し、同研究所を上記の事業の発信基地に
 - ・ 社会人の学び直し(リカレント教育)方策の探求(短期～中期)
 - ・ 附属幼稚園教諭に専攻科での就学機会を提供し、継続学習と同時に附属園での定着と安定的就業を目指す
 - ・ 上記の諸事業から学び直しへの動機づけを行うなど、広く保育に関心を持つ市民・社会人の潜在的な可能性を追求
- 5、附属幼稚園教諭に専攻科での就学機会を提供し、継続学習と同時に附属園での定着と安定的就業を目指す
- 6、アジア中心にグローバル化を模索(中期～長期)
 - ・ 中国、韓国の調査研究の始まり
 - ・ CUAC(Colleges and Universities of Anglican Communion)傘下の大学間の連携と交流に積極的に参加
 - ・ カナダの関係教会・保育系学校とのつながりと交流を模索
 - ・ 多文化共生ニーズに応える幼児教育(保育)の開発
 - ・ 学習環境の整備充実(当面～中長期)
 - ・ 校舎等(こけい)に1号館3階建部分の増改築↑キャンパス整備計画の策定
 - ・ 短大所有地の拡大(将来の四大化に備えて)
 - ・ 教育のより確かな質保証を実現する教育改革(短期～中長期)
 - ・ 保育者像(保育者の専門性など)のさらなる深化(↑ディプロマ・カリキュラムポリシーの見直し)
 - ・ 教育目標と学習過程に対応した「学修成果」の意義づけ
 - ・ 幼保一体化、保育ニーズの高度化・多様化など、現代的ニーズに応える教育内容の精選と構造化・体系化
- 7、学習環境の整備充実(当面～中長期)
- 8、短大所有地の拡大(将来の四大化に備えて)
- 9、全学的な学生支援(学習、キャリア、生活)体制の強化・充実
 - ・ 学習センターとしての図書館の活性化
 - ・ 柳城生にふさわしい学生確保のための入試改革(短期～中長期)
 - ・ 保育者にふさわしい適性と基礎的能力・資質を評価できる選抜方法の開発(↑アドミッショントラックの見直し・具体化)
 - ・ 入試の試験内容(面接、科目等)の検討(↑本学での学修成果と就職後の保育実績等から分析)
 - ・ 学生募集に向けての全学的な検討と積極的な取組
- 10、幼保一体化に向けての附属幼稚園の改革(当面～短期)
 - ・ 各園の特色を活かした方向づけ
 - ・ 教育・保育の質のさらなる向上と教育・保育力の強化・充実
 - ・ 短大との連携・協働
- 11、理事会・教授会を中心としたガバナンスの強化(当面～短期)
 - ・ 理事長・学長のリーダーシップの強化
 - ・ 理事会と教授会の連携、理事長・学長の補佐体制の充実
 - ・ 法人事務局の強化(理事会・評議会関係業務、経営分析、将来計画の策定、IR、人事、広報、規程、附属園関係等)
- 12、教職員の総力をあげての学内運営と教育改革
 - ・ 教員と事務職員がそれぞれの専門性を発揮して学内運営への積極的な参加と協働
 - ・ 教員と事務職員がそれぞれの視点から取り組む教育改革
- 13、組織と業務内容の見直し・再編成(当面～短期)
 - ・ 上記の目的達成のために有機的・合理的な業務遂行のための業務改善及び組織機構の見直し・再編成
 - ・ 人事考課・自己申告の制度化、適材適所の職員配置、成果主義等の検討
- 14、その他(短・中期)
 - ・ 柳城学院120年史の編纂(↑アーカイブスの充実)の準備
 - ・ 全国保育士養成協議会の全国セミナー・研究会開催への準備
 - ・ 日本聖公会保育連盟(聖保連)研修会(近い将来に本学が担当)
 - ・ 日本聖公会関係学校教職員研修会の準備

聖書のこ と ば

「神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めてよかった。」

創世記第1章31節



聖書によれば、神様は、天地の創造からはじめて草木から海と陸地に住むすべての生物を創造され、最後に人間を創造されたと書かれています。そしてそれらすべてを御覧になって述べられた感想が今回の聖書の言葉です。ここに至る前に一日ごとに草木や海と陸地に住む生物を創造され、その日ごとに「神はこれを見て、良しとされた。」と言われています。つまり、それぞれのものですべてが祝福された存在であり、すべてがあつて「極めてよかった」ということになるのです。

こうした視点から現在の世界の状況を見たときに、果たして今の世界は、地球環境として「良い」状態にあるといえるでしょ

うか。すぐに思い浮かぶのは福島

の原発事故による環境汚染です。実は、この問題は最初に原子力というエネルギーが生み出された時からあつた問題です。原子爆弾を作り出したアメリカ、ソ連、フランスといった国はその威力を確認するために実際に爆発させる実験を何度も行いました。その地域は今でも人が住めない地域です。また福島の事故以前にもアメリカで、ソ連で原子力発電所の事故があり、チェルノブイリでは今でも人が住めない地域があります。こうして私たちは、人が住めないというところでこれを基準に物事を問題視しています。ところが、実のところ、それではここに住んでいた動物や植物はどうなったのでしょうか。人は危険を察知してほかの場所に避難しています。しかし、そんなことは全く分からない動物は、そこに住み続けています。草や木に至っては移動することさえできません。実際問題として福島の避難地域には、今でも多くの自

然の動物が生活をしています。野山には除染されない環境の中で草や木が生活しています。これらがどうなるのかは誰にもわかりません。

人にとって自然は欠かせない存在です。春から夏にかけての時期、梅や桜が始まって多くの美しい花々、新緑の輝きといった植物、また、同じときに聞かれる鶯の声をはじめたくさんの鳥のさえずりも私たちの心に癒しを与えてくれます。こうしたことを考えたときに、私たちは自分の都合の良い時だけ自然を利用して、事故を起こした時は知らん顔といったことではないのでしょうか。決してそんなことではないはず。ここにも、今を生きる私たちの大きな課題があります。共に考えましょう。

名古屋柳城短期大学

チャブレン

司祭 ペテロ 田中 誠



1・2年生 学外合同ゼミナール 「夢ゼミ」

平成26年度の1・2年生学外合同ゼミナール「夢ゼミ」は4月24～25日にかけて石川県の山代温泉にある「ゆのくに天祥」という全国でも名旅館といわれる施設を借り切って行われました。講師には本学卒業生の堀美枝子先生に「保育の道を進んで」という題で講演をしていただきました。保育行政に携わっている先生のお話は難しい部分もありましたが感動的な読み聞かせや保育についての基礎知識

識を後輩に印象深くお話しして下さいました。その内容をグループ討議に結び付けることができ実り多かつたようです。夜は新人生歓迎会で盛り上がり大満足でした。2日目は北陸の伝統文化の輪島箸の沈金体験もしました。盛りだくさんのプログラムでしたが1年生は次年度を楽しみにしているとおもいます。2年生は就職に向かってよい思い出と体験ができたと思います。(学生生活委員長 野々垣文成)



野々垣文成

第3回東日本大震災

復興支援ボランティア活動の恵み

キリスト教センター 村田 康常



現地でのボランティア活動 (A日程)



現地でのボランティア活動 (B日程)

山元町のふじ幼稚園での保育体験や磯山聖ヨハネ教会仮礼拝堂での聖餐式への参加など、現地の方々と直接触れ合う豊かな時間をもつことができました。また、震災の物語者を追悼する相馬市の慰霊流

名古屋柳城短期大学キリスト教センターでは、学生と教職員が協働して、2013年度の東日本大震災復興支援のボランティア活動を実施しました。2011年度から続けられてきた東北の被災地での支援活動を継続するとともに、昨年度は、新たに、名古屋での継続的な活動も試みました。震災から三年目を迎えた今、自分たちに何ができるのか、自問を繰り返し、手探りしながらの活動でしたが、参加した学生と教職員は、この活動を通じて、多くの恵みを受けることができました。

被災者との「キャッチボール」だという支援者の言葉です。この二つの言葉が、柳城の昨年度のボランティア活動のキーワードとなりました。震災を「風化させない」という言葉を受けて、被災地の方々と「キャッチボール」を実現するために、現地でのボランティア活動を8月16日―19日のA日程と、9月1日―4日のB日程の2回、それぞれ学生8名、引率教員3名の合計22名で、実施しました。いずれの日程でも、初日に地震と津波の被害を受けた被災地を巡礼しました。案内してくださったセンターしんちのスタッフの方が、学生たちに津波を受けて土台だけが残された宅地跡を指しながら「ここが私の家です」と語ってくださったこと、そのときの黙祷の深さ、雁小屋仮設住宅と広畑仮設住宅で暮らす方々との交流や、宮城県

灯会の折にともに黙祷した現地の方々や、立ち寄った新地町役場で震災当時の壮絶な体験を語ってくださった職員の方をはじめ、思いがけない出会いと交わりの中で、被災者の深い悲しみと復興への希望に直接触れました。こうした現地での活動とともに、被災者との「キャッチボール」という視点から津波被害にあった宮城県山元町の「ふじ幼稚園」でいただいたひまわりの種を学内で育てて花を咲かせるという活動、「被災者支援センターしんち」で開かれる水曜茶話会のためのケーキを毎月作って送る活動を継続してきました。11月の柳城祭では、新地町の仮設住宅の方々の手づくりの「裂き編みコースター」と「いちごのストラップ」を販売しました。



ふじ幼稚園からいただいたひまわり

平成24年度より、文部科学省の財政支援を受けて実施しているこの取組も3年目に入り、これまでに、「保育者養成制度調査研究プロジェクト」、「保育系学生正課外活動調査研究プロジェクト」、「地域連携プロジェクト」など8つのプロジェクトが稼働しています。連携大学のさまざまな学生間交流イベントも行われ（合同合宿セミナー&保育技術合同発表会、合同就職相談会、「岡崎五万石まつり」「チュウキョウくんのすこやかフェスタ」「お江戸でダンス」等地域保育イベント活動）、本学の学生たちも積極的に活動しているところです。本事業の取組と成果はホームページより発信中です。



岡崎五万石まつり

大学間連携共同教育推進事業 「保育コンソーシアムあいち」

<http://www.nagoya-college.ac.jp/>

hca/

マーガレット・ヤング基金のご報告

保育者養成に110余年の歴史と実績をもつ本学には、社会に信頼され、社会に貢献できる保育者や介護者の育成が、今後ますます期待されることです。そのため、教育研究環境のさらなる充実は今後とも本学の課題です。

2011年度よりスタートいたしました『マーガレット・ヤング基金』への皆様のご寄附件数実績により、昨年5月に柳城学院は「税額控除対象法人」として認定を受けることができました。皆様のご協力に心から感謝を申し上げます。これにより、当基金へのご寄附はもとより、本学への他のご寄附についても、税額控除制度の適用を受けることになりました。

『マーガレット・ヤング基金』へのご寄附は、スタート以来539件（2014年3月末時点）に達しました。皆様から寄せられた基金は順調に増加しております。今後、本学の教育研究環境がより整備され、また学生支援がより充実したものになっていくようう用させていただく予定であります。これからも続けてお支え下さい。基金への更なるご協力をお願いいたします。

紙芝居プロジェクト — 紙芝居が育むもの —

プロジェクト実行委員長 鬢柳久美子

「富山紙芝居コンクール大会」、 団体の部最優秀賞

プロジェクトでは、保育者養成の課程にどのように紙芝居を導入すべきかを模索してきました。一月になって、富山の紙芝居コンクールからお誘いを受け、「児童文化」と「総合演習」で作成した作品から6点を選び出展しました。なんと、嬉しいことにこの6点が団体の部の最優秀賞に選ばれ、賞状と金メダルが贈られてきました。学生自身の夢を表現した作品、乳幼児の心に届くよう工夫を凝らした作品に、高い評価をいただきました。学生たちの励みと自信になりました。

附属3園での「紙芝居の会」

未就園児に紙芝居を広めたいという思いと、附属園の広報活動の応援というねらいを重ねた取り組みです。始めてから8年がたちました。どの園でも毎年恒例行事として定着し、園の先生方の企画が素敵なものとなっています。大学から出向く私たちにとっては、楽しい一時です。

キッズ紙芝居コンテスト

昨年、例年通り100点近くの応募がありました。最優秀作品は「ふしぎなぐだものやさん」です。「どうしてお空は、お天気になったり、雨が降ったりするの？」4歳の子ど



富山コンクールの賞状とメダル



キッズ紙芝居コンテストのチラシ

もならではの疑問とそれに寄り添うお母様の姿が、一つのユーモラスな作品となっています。受賞発表後に分かったことですが、お母様がなんと柳城の卒業生だったのです。最優秀作品、優秀作品2点は、キッズ紙芝居ギャラリー（紙芝居、ネット）に公開しています。ぜひご覧ください。今年度も沢山の作品の応募をお待ちしています。

幼児教育研究所

今年度から幼児教育研究所の活動が再開され、紙芝居プロジェクトは研究所の所属となりました。これからも紙芝居を仲立ちに、どんな出会いがあるのか、何が育まれていくのかとても楽しみです。更なる発展に、ご支援の程よろしくお願いいたします。

短大3号館 落成のご報告

総務課 加藤実治

主の御名をほめたたえます。

2014年3月20日、短大新校舎3号館が無事に学院側へ引き渡されましたこと、先ずもつてここに報告するとともに、工事関係者ならびに工事にご理解いただいた近隣の方々や学院内の関係部署の皆さんに、心から感謝をいたします。

今回の工事は2011年1月に落成した短大北館に続く校舎整備計画の第2弾と言えましょう。北館は教室の増設を狙ったものでしたが、3号館は主に次の6点の実現を目指しました。

①学生ラウンジの拡張（座席数、114席増）。②ピアノサポート教室の移設（移設後の5号館3室を学生さんに開放）。③子育て支援ルームの新設（2号館内の教室1つを3号館に移設した後の空き教室を利用。かつての「幼児教育研究所」の部分復活を目指す）。④書庫の拡張（既存書庫の手狭さを解消）。⑤研究室の集中（移設後の各部屋を有効利用）。⑥同窓会室の校内確保。⑤に伴い4号館内の歴史資料室を拡張して、そこに同窓会室を併設）

2013年1月、これらの基本計画がキャンパス整備委員会で決定されて以来、約14カ月にわたる完成までの道程は決して平坦ではありませんでしたが、主のお守りのうちに

2013年度内の完成に至る事ができました。幸いなことに、本施設に対する評価が、文部科学省の施設整備並びに教育研究活性化整備の各補助事業に採択されるという形で与えられ、3号館建設にかかる総費用の約半分に近い1億500万円程の補助金を得ることができました。国民の税金が3号館に投入されたことは、まことに身の引き締まる思いです。

ただ、キリスト教主義を前面に打ち出している本学にとっては、3号館への「この世」的な思いに対して、霊的な冷静さをもって謙虚に再評価していく必要があります。「人の心には多くの計らいがある。主の御旨のみが実現する（箴言19:21）」と聖書にある通りです。イエス・キリストも語っています。「わたしに向かつて、『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御心を行う者だけが入るのである（マタイ7:21）。」

どちらの聖句も「自我を捨てて、神の御心に従え」との戒めであります。

写真にある通り、3号館の玄関には十字架が2ヶ所与えられました。これらが「お飾り」で無い事は言うまでもあ

りません。この玄関はイエス・キリストの入られる門であり、本学の創始者マーガレット・ヤングをお迎えする場所でもあります。この十字架を見るたびに、自我を抑えてイエス・キリストの思いに立ち返ることで、3号館に対する霊的評価は持続し、今後30年以上は利用されるであろう本館が、小さいながらも短大の要の施設になっていくことを切に祈りたいと思います。主に感謝。

イエスは、別のたとえを持ち出して、彼らに言われた。「天の国はからし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けば、どんな種よりも小さいのに、成長するとの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。」（マタイ13:31-32）



2013年度 就職状況

「努力は嘘をつかない！夢は必ず叶う！」
就職内定率100%!

2013年度は、
求人数は昨年度も増加

保育科、専攻科保
育専攻、専攻科介
護福祉専攻合わせ
て221名が卒
業・修了しました。

愛知県内の大学・短大生の就職
率は、経済状況の改善により、対
前年比1.6ポイント増の94.9%
と3年連続で上昇となりました。
(平成26年3月末日現在)

そのうち194名が就職を希
望し、全員が無事就職するこ
とができました。就職先の種
別データを見ますと、保育職・
介護職で全体の約97%を占め
ています。そして、そのほと
んどが正規での採用でした。

学生は保育者・介護者にな
る夢を叶えるため、真摯に就
職活動に取り組みました。一
口に幼稚園、保育所、介護施
設と言っても園・施設によっ
てそれぞれ個性があります。

学生は『園・施設研究』を重
ねて自身の考えや思いにあっ
たところを探し、積極的に採
用試験に臨んでいました。努
力が実り、皆が結果を出せた
ことを心から称賛したいと思います。

今後は保育者・介護者
としてそれぞれの職場で充実
した人生を歩んでもらえるこ
とを祈念しています。

このことは、保育現場からの柳城
生への高い評価の表れであると感
謝しつつ、今後も期待に添えるよ
う更なる教育の充実を図ってい
く所存です。そして、学生に対し
ては、一人ひとりが満足度の高い就
職となるよう、引き続き、教職員
全体で連携を図り、きめ細やかな
指導、支援を行って参ります。

しかし、就職活動が楽になっ
たと感じている学生はほとんどい
ないのではないのでしょうか。何十社
と受験してもなかなか内定を得る
ことができない学生の方が多数で
あることは間違いのないようです。

そのような状況下ですが、保育
の就職は好調で、柳城への求人情
数は昨年度よりも100件以上増
加しています。中でも保育所から
の求人は大幅に増加しています。

このことは、保育現場からの柳城
生への高い評価の表れであると感
謝しつつ、今後も期待に添えるよ
う更なる教育の充実を図ってい
く所存です。そして、学生に対し
ては、一人ひとりが満足度の高い就
職となるよう、引き続き、教職員
全体で連携を図り、きめ細やかな
指導、支援を行って参ります。

このことは、保育現場からの柳城
生への高い評価の表れであると感
謝しつつ、今後も期待に添えるよ
う更なる教育の充実を図ってい
く所存です。そして、学生に対し
ては、一人ひとりが満足度の高い就
職となるよう、引き続き、教職員
全体で連携を図り、きめ細やかな
指導、支援を行って参ります。

このことは、保育現場からの柳城
生への高い評価の表れであると感
謝しつつ、今後も期待に添えるよ
う更なる教育の充実を図ってい
く所存です。そして、学生に対し
ては、一人ひとりが満足度の高い就
職となるよう、引き続き、教職員
全体で連携を図り、きめ細やかな
指導、支援を行って参ります。

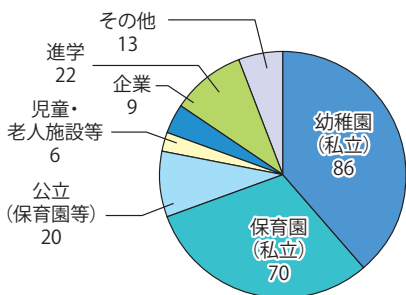
このことは、保育現場からの柳城
生への高い評価の表れであると感
謝しつつ、今後も期待に添えるよ
う更なる教育の充実を図ってい
く所存です。そして、学生に対し
ては、一人ひとりが満足度の高い就
職となるよう、引き続き、教職員
全体で連携を図り、きめ細やかな
指導、支援を行って参ります。

このことは、保育現場からの柳城
生への高い評価の表れであると感
謝しつつ、今後も期待に添えるよ
う更なる教育の充実を図ってい
く所存です。そして、学生に対し
ては、一人ひとりが満足度の高い就
職となるよう、引き続き、教職員
全体で連携を図り、きめ細やかな
指導、支援を行って参ります。

このことは、保育現場からの柳城
生への高い評価の表れであると感
謝しつつ、今後も期待に添えるよ
う更なる教育の充実を図ってい
く所存です。そして、学生に対し
ては、一人ひとりが満足度の高い就
職となるよう、引き続き、教職員
全体で連携を図り、きめ細やかな
指導、支援を行って参ります。

DATA 2013年度卒業生 221人

2014年3月31日現在



	卒業生数(人)	就職希望者(人)	就職率(%)	進学者(人)	就職希望なし(人)
保育科	193	167	100	17	9
専攻科	28	27	100	0	1
専攻科	10	9	100	0	0
専攻科	18	18	100	0	0
計	221	194	100	17	10

就職課では卒業生に対する再就職の斡旋を行っております。現在、柳城には幼稚園、保育所から大変多くの求人依頼が届いております。再就職をお考えの方は就職課までお気軽にご相談ください。なお、ホームページに詳細を載せております。登録いただくための求職票様式のデータもアップしてありますのでご利用ください。

就職課直通ダイヤル 052-848-8291
E-メールアドレス syusyoku@ryujo.ac.jp

図書館情報

3号館の竣工に伴い、図書館の面積が増えました。と言っても、皆さんが日々使用する閲覧室と視聴覚室の面積が変わったわけではありません。広くなったのは書庫と歴史資料室です。図書館としては、皆さんの使用できる部分の面積を増やしたかったのですが、今回それはないませんでした。しかし、第2書庫ができ書庫の面積が増えたことは、とても喜ばしいことです。昨年度の学院報にも書いたとおり、ここ数年、所蔵資料数が収容能力を超えているという状態が続いております。第2書庫ができたことにより、やっとこの問題が解消されたのです。第2書庫には、約1万8千冊の本を収容することができます。参考までに過去3年間の図書受入れ冊数(研究費による購入分含む)を見てください。

2011年度 986冊

2012年度 1051冊

2013年度 860冊

この調子で本が増えていっても、たぶん15年程度は保管場所に困らないでしょう。

その他、昨年度の学院報で紹介した問題点の中で、改善されたものをご報告します。

- ・ 検索用PCがすべて新しくなり、処理速度が格段に上がった。
- ・ 絵本の配架場所を、明るく見やすい書架に変更した。
- ・ 保育実用書コーナーを細かく分類し、表示板を入れた(改善できたのは一部分であり、さらに工夫が必要である)。
- ・ 書架の清掃を毎日行っている。

以上の取り組みには、アルバイトの方々にも大いに協力していただいております。これからも、利用者にとってより使いやすい図書館となるよう頑張りたいと思います。

最後はお願いです。今回の3号館の建築では、エレベーターが設置されませんでした。財政的な問題があるかとは思いますが、将来、再び校舎の増築・新築といった機会があったなら、ぜひエレベーターの設置をご検討ください。荷物の運搬が楽になるだけでなく、車いす利用者等の図書館利用が可能となります。規定上利用可能な方であっても、車いすでの入館は、現状では非常に困難です。前向きにお考えいただければ幸いです。

2015年度 入試情報

二〇一四年度

入試結果

保育科二〇四名、専攻科保育専攻四名、専攻科介護福祉専攻二二名の新生が入学しました。

ることのできる基礎的な力を持つ

「ている」などと高い評価をいただいております。

今後におきましても、更なる本学の教育の質の向上、学生本意の教育の充実を目指してまいります。保育、介護福祉への進学を希望される方がお見えでしたら、ぜひ、本学への受験をお勧めいただければ幸いです。

ばと思います。

二〇一五年度入試概要

本学の入学試験には、公募制推薦A入試(専願)、公募制推薦B入試(併願)、AO入試、一般A入試、一般B入試、社会人対象等の特別選抜入試、特別推薦入試の試験があります。

た。この状況は、高校生の四大志向や短期大学間の競争など厳しい外部環境の中で、保育科二〇四名の学生を迎えることができませんでした。ことは、本学一六年度の歴史と伝統に基づく教育内容や学習支援が、社会に認められていく結果であると自負しております。

また、実習先や就職先の園長先生からは、「柳城生はまじめで明るく素直」、「保育に取り組む姿勢が良い」、「保育の内容を豊かに受けとめ

2015年度入学試験日程

試験区分	募集人員	出願期間	入学試験日	合格通知発表日
推薦試験 公募制推薦A入学試験(専願)	60	2014年9月29日(月)～10月10日(金)	10月18日(土)	10月23日(木)
公募制推薦B入学試験(併願)	25	2014年10月27日(月)～11月7日(金)	11月15日(土)	11月20日(木)
AO入学試験	20	願書等提出期間 2014年8月25日(月)～9月5日(金)	(一次) 9月13日(土)	9月25日(木)
		調査書・課題等提出期間 2014年9月8日(月)～9月12日(金)	(二次) 9月20日(土)	
一般A入学試験	60	2015年1月7日(水)～1月21日(水)	1月28日(水)	1月31日(土)
一般B入学試験	5	2015年2月13日(金)～2月24日(火)	3月3日(火)	3月5日(木)
特別選抜	社会人入学試験	若干名	2015年1月7日(水)～1月21日(水)	1月28日(水) 1月31日(土)
	帰国生徒入学試験	若干名	2014年9月29日(月)～10月10日(金)	10月18日(土) 10月23日(木)
	私費外国人留学生入学試験	若干名	2015年1月7日(水)～1月21日(水)	1月28日(水) 1月31日(土)
特別推薦	指定校推薦入学試験	30	2014年10月20日(月)～10月31日(金)	11月8日(土) 11月13日(木)
	キリスト教会推薦入学試験	若干名	2014年9月29日(月)～10月10日(金)	10月18日(土) 10月23日(木)
	同窓生推薦入学試験	若干名	2014年9月29日(月)～10月10日(金)	10月18日(土) 10月23日(木)

この中の特別推薦入試には、「同窓生推薦入試」や「キリスト教会推薦入試」が含まれています。まず、「同窓生推薦入試」は、本学を卒業されたお方のお子様、お孫様、ご兄弟を推薦していただく入試です。特にこの入試は、合格者の中から上位三名の方に対して、入学金が免除される特典があります。次に「キリスト教会推薦入試」

ですが、「同窓生推薦入試」と同様に、合格者の中から上位三名の方を対象に入学金が免除されます。このように本学は、多様な入試を実施していますので、自分に合った入試を選んでください。入試広報課では、入試に関する相談やお問い合わせを行っています。お気軽にお電話ください。(入試広報課)

学院人事

- 4月1日付
法人
採用 職員 岩田 牧夫(法人事務局)
- 短大
退職 教員 小島千恵子(講師)
- 採用 職員 相川記久恵
- 幼稚園
退職 園長 中野 早苗
- 採用 教諭 鍋谷 貴子(主任)
- 教諭 伊藤 沙恵
- 採用 園長 織田 純代
- 三好丘聖マーガレット幼稚園
退職 園長 平松ちづ代
- 採用 園長 児玉 文字
- 教諭 細野 悠司
- 5月31日付
短大
退職 職員 阿部 力治(経理課・課長)
- 6月1日付
短大
任用 職員 渡辺 敏光(経理課・課長)
- 職員 福田 郁子(経理課・係長)

役員人事

- 理事・監事
- 理事長 波澤 一郎
- 理事 新海 英行
- 理事 伊藤 秀章
- 理事 松本 勝
- 理事 関 俊子
- 理事 池田 正毅
- 理事 長繩 年延
- 理事 野村 潔
- 理事 塚田 一宣
- 理事 日野 忠市
- 3月31日付
退任
顧問 田浦 武雄(元学長)

評議員

- 波澤 一郎 中村 雅
- 新海 英行 野々垣文成
- 伊藤 秀章 野村 潔
- 岡野 尚子 平松ちづ代
- 菊地 伸二 松本 勝
- 小島 典子 宮澤 俊夫
- 田中 誠 諸岡 研史
- 関 俊子 渡邊 信子
- 中川由希子

後援会 News

後援会 会長あいさつ

本年度、後援会会長を務めさせていただきますことになりました小島と申します。

「会長など私には無理…」と思いましたが、柳城は多くのことを学んだ大好きな母校、私で良ければとお受けすることにしました。

先日、娘に明日の予定を聞くと「実習先に事前訪問に行くよ」と元氣な返事でした。1年の時、実習といえば「どうしよう…」から始まつていた娘なので、違いを感じました。入学当初は課題の多さに弱音も聞こえましたが、今は前向きに課題に取り組んでいます。昨年の柳城祭で展示された手作りおもちゃは半年しか学んでいない1年生の作品でしたがどれも工夫されていて感心しました。1年という短い時間の中で経験を積み成長したと思います。学校の先生方、実習先でお世話になってる先生方の指導のおかげと感謝しています。約30年振りに訪れた柳城は、図書館のあった場所に新しい校舎が建ちラウンジも造られ校舎は靴の



小島 典子

まま入るようになり最初は戸惑いました。変わっていないことは、柳城生が明るくて元氣！なことでした。柳城祭では私たち役員も皆さんの元氣をもらいお手伝いをいたします。1年間よろしくお願いたします。

◆後援会役員 (敬称略・順不同)

- 会長 小島 典子 2年
- 副会長 中川由希子 1年
- 会計監査委員 佐藤麻友美 2年
- 会計監査委員 鰐部こずえ 1年
- 大橋 康子 2年
- 森 佳代子 2年
- 浅野ゆみ 2年
- 石川 涼子 2年
- 野村るり子 2年
- 磯崎 純子 1年
- 鈴木 好子 1年
- 倉澤 一美 1年
- 齊藤さつき 1年
- 伊藤みゆき 1年
- 寺本規公美 1年

◆大学教職員

- 顧問 新海 英行(学長)
- 幹事 野々垣文成(教授)
- 幹事 水落 洋志(講師)
- 事務担当 細川 領 (教務課員)

同窓会 News

のぞみの会 会長

今年もまた、暑い夏がやってまいりました。皆様おかわりなくお過ごしでしょうか？6月の総会には、多数ご参加いただきありがとうございますございました。

私はよく人から「忙しいね。」と言われてしまいます。確かに、毎日仕事があり、それ以外の用事も毎日何やかやとあり、何もない日はありません。でもそれらすべてが私には大切で、またそれらが「私」を形作っていると言えるのではないのでしょうか。

また、仕事(お給料をいただくもの)と、それ以外(ボランティア的なものや趣味)を比べると、断然それ以外の用件が多いのですが、それは「私」を必要とされて行っているものと感じています。同窓会、子どもの学校のPTA、音楽祭のスタッフ、ジュニア吹奏楽団のお世話等、大きな力によって導かれるかのように、いつも偶然の出会いから始まり、私はそのために生かされているのではない



鎮旗 真弓

かと思っています。その上「私」を介して新しい繋がりが生まれるとき最高の喜びを感じます。

だから「忙しいね。」と言われると喜びすら感じてしまい、ますます忙しい日々を送ることになってしまいます。でも「忙しい」は「心を亡くす」と書きます。心だけはなくさないよう健康にも気を付けて、何かのために誰かのために私を生かしていきたいと思えます。

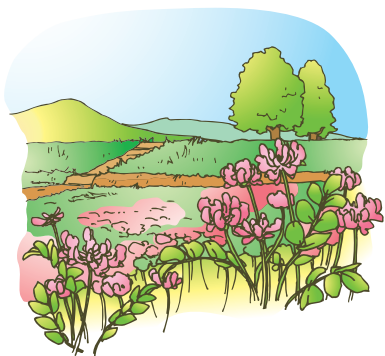
のぞみの会関東支部 会長 筑井 宏子

「ごきげんよう。さようなら」で終わるNHK朝の連続ドラマ『花子とアン』を観ています。花子の学園生活の場面がありました。子が、当時の髪型、はかま姿などまたカナダから来られたという先生方の様子は柳城の創立当時が想われる楽しいものでした。

関東支部には昭和6年卒業の益田松枝さんがいらつしやいます。昭和10年代に卒業された方が7人

いらつしやいますが懐かしくご覧になっていらつしやるのではないのでしょうか。

今年の関東支部会は10月20日(月)東京都葛飾区の社会福祉法人葛飾学園とケアハウス サン・ピエールを訪問する事になりました。葛飾学園は大正5年日本聖公会山口信太司祭が貧民伝道を志した事を発端に保育園をそして現在児童クラブ、ケアハウス事業を行っています。三代目となられる現理事長山口千晴氏のお話もお聞き出来ることになりました。詳しいお知らせは9月には発送いたしますので沢山の方の参加をおまちしております。



附属柳城幼稚園



います。
子どもたちも友だちや先生にいろいろな表情を見せるようになって来ました。幼稚園では一番上のお兄さんお姉さんなんだ、と張り切り、小さいお友だちや困っているお友だちの手助けをしたり、とても微笑ましい姿が見られます。また、青組だからこそできる行事も増え、子どもたちは毎日期待をもって登園してきてくれます。

外遊びでは、サッカ―、氷オニ、工作ごっこ、おうちごっこなど、と、大好きなお友だちと様々なところで遊びが繰り広げられています。遊びの中でお友だちとケンカになったり、自分の思い通りにいかないことを感じ、それぞれに今、もどかしい気持ちになっている子もいたりします。そんな時もしっかりと神様は近くにおいて下さることを感じながら、これからの1年間、多くの行事を通して、お友だちと協力し合えるように、私もそっと見守ってまいります。

年中「黄組」

年長組（青組）担任 桑原 奈津

今年度の年中組は27名でスタートしました。子どもたちの手で植えたキュウリやトマトは、太陽の恵みと子どもたちからの愛情のこもった水の恵みを浴びて、日々大きく成長をしています。子どもたちは目で見て分かる成長を楽しみに、毎日登園をしてきます。また、園庭にそびえる大きなイチヨウの木は、気持ちの良い木陰をつくり子どもたちを癒してくれています。こうした自然の中で、「遊び」を通して、友

だちとの関わり方や新たな友だちの一面、異年齢の友だちとも何隔てなく遊びに夢中になれる子どもたちと過ごしている事に、喜びを感じる日々です。1年間、子どもたちの成長を見逃さないよう、一人ひとりの子どもたちに愛をもって関わり、子どもの「今」を大切に、ともに楽しい日々を過ごしていきたいです。

年少「赤組」

年中組（黄組）担任 八島 麻衣

青々と繁る園庭のいちよウの木。太陽の光を柔らかい日差しに変えてくれ、まるで子どもたちを優しく包んでくれているようです。そんないちよウの木に見守られながら、少しずつ新しい生活に慣れてきた年少組の子どもたち。小さくても毎朝お母さんから離れ、自分の身支度をしたり、担任の話聞いたり、給食を食べたり：一つひとつの新しい経験や出合いを重ねて、毎日様々な表情で私たちの心を温かくしてくれます。園庭でも、「どろだんご作る!!」「ブランコ乗りたい。」「先生も一緒にやろう!!」と色々な声が響き、楽しそうな姿が広がってきました。子どもたちから見える景色は、私たちより遥かに豊かな想像で膨らんでいます。私たちも、子どもたちとの遊びを共に楽しみ、神さまとのつながりも大切にしながら、子どもたちの心を大切に育んでいきたいです。

年少組（赤組）担任 青木 万莉
伊藤 沙恵

満三歳児「桃組」

今年は、4月から桃組をスタートさせました。お家で過ごしていた生活から、幼稚園という集団に入り、喜びと戸惑いを抱きながら、毎日登園してくる子どもたちです。朝の支度は、「自分でできるもん!」とばかりに得意げにタオルを掛けたり、コップを出したりする姿は、とても愛らしいです。戸外遊びでは、年長さんの三輪車の後ろに乗せてもらったり、お兄ちゃんやお

姉ちゃんの真似をして、ブランコや滑り台、砂場で遊んでいます。そんな子どもたちですが、困ったことがあるとお母さんを思い出して泣いたり、保育者の手をギュッと握る姿もあります。子どもたちの心の動きを大切に、集団の中で生活することに少しずつ慣れていけるように、ひとりひとりの発達に合わせた保育をしていきたいと思っています。

担任 鍋谷 貴子

年長「青組」

園長 織田 純代

青組になり、1か月がたとうとして

今年度の年中組は27名でスタートしました。子どもたちの手で植えたキュウリやトマトは、太陽の恵みと子どもたちからの愛情のこもった水の恵みを浴びて、日々大きく成長をしています。子どもたちは目で見て分かる成長を楽しみに、毎日登園をしてきます。また、園庭にそびえる大きなイチヨウの木は、気持ちの良い木陰をつくり子どもたちを癒してくれています。こうした自然の中で、「遊び」を通して、友



大好きな築山



たのしい砂場



お誕生日礼拝



月に一度の
おいしいカレー



附属豊田幼稚園

満3歳児

年上の園児から「可愛いね」と声をかけられたり、三輪車に乗せてもらったり、ブランコを押してもらったり：子ども集団の人気者です。いつも傍らに誰かがいる環境の中で、うがい、手洗い、給食の準備や片付け等も上手に真似して自分ですようと頑張っています。

自然ととても仲良しで梅や柿やブドウ、畑の苺やメロンに西瓜、プランターのトマトやキュウリ、枝豆や落花生、向日葵や朝顔等々が実っていく様子を喜ぶ毎日です。

子どもたちが様々な場所や場面で、見て、聴いて、触れて、嗅いで、味わいながら世界を感じ取ってほしいと思います。途中入園児もすぐ仲間入りできてしまう「も

も組」の成長が楽しみです。

満3歳クラス担当 林 ひとみ

年少児

園生活が始まってしばらくすると、覚えての友だちの名前を呼んで「おはよう」の挨拶を交わす姿が多くなりました。外遊びが大好きで、身支度を終えると園庭に飛び出していきます。小さな手で一所懸命作る泥団子、美味しそうな食べ物屋が並ぶ砂場遊び、てっぺんまで登って大満足のジャングルジム、カップ一杯になるまで虫探し等々。目を輝かせ、力いっぱい遊ぶ姿にホッコリ…。

年少組で大切にしている活動の



「よし!“にいちちゃん”にまかしどきっ」



「おーいダンゴ虫や」



「みんな違ってみんなのアイデ」



「絵の具との出会いに感動しきり…」

一つに「自由選択活動（毎週火曜日）」があります。室内外に様々な遊びを用意し、子ども自身が選んだ遊びをたのび楽しんでます。子どもたちにとって心満たされる日々になるよう願っています。

年少クラス担当 阪下 起子

年中児

進級して1ヶ月が過ぎた頃、クラス対抗しつぽ取りゲームを行いました。しつぽを互いに付け合いました。「絶対に勝とうネッ！」と気合も十分。思い切り闘った後で「1、2、3…」と全員が注目する中取れたしつぽを数えます。「明日もする？」「今度勝てるように練習

しよ」と意欲満々の子どもたちでした。

毎日、子どもたちのひたむきな思いや姿から沢山のパワーと元気が溢れ、私たち子どもたちからパワーと元気をもらっていると実感します。

「イイ」とこ探し」が今年度の幼稚園のテーマ。一人ひとりの良さを尊重し、互いが大切な存在になる関係作りに努めたいと思いま

す。

年長児

年間を通して年長児は、豊田市の企画も含めスポーツや社会見学や

交流会や野外学習等、体験が盛り沢山です。

今年度、初チャレンジしたのが個人用絵の具です。自分の名前が書いてある絵の具セットを使うだけでワクワク。パレットにチューブから絵の具を出す時ドキドキ。筆を画用紙にのせて動かすと…。感動しきりの子どもたちでした。

絵の具の魅力は、濃淡を変えられたり、色を混ぜて新しい色を創り出せること。年長児には色作りや思い思いの表現等、ゆつくりと活動に取り組んでほしいと思います。そこから、子ども一人ひとりのカラー（個性）ものびやかに表現されていくよう望んでいます。

年長クラス担当 津田 早百合



神様のお守りのうちに今年度も171名の園児と共にスタートしました。

前年度まで長年に渡りマーガレット幼稚園を支えて下さった平松園長が退職し、新たに児玉園長が来てくださいました。また新任として、園初の男性教諭を迎え、さらに活気のある雰囲気になることも期待しています。あと一つ嬉しいことに赤ちゃんを授かった職員もおり、子ども達は大きくなっていく先生のお腹に声を掛けたり、さすったりしながら新しい命の誕生を心待ちにしています。今年度もあふれる愛で子ども達を包み、心に寄り添いながら楽しく毎日を通していけるように職員一丸となって保育にあたりたいと思っています。

年長児味噌作り

毎年、年長組が4月に行う事。それは味噌作り！大豆を水に一晩つけておくと、翌朝2〜3倍に大きくなった豆をみて子ども達は毎年ビックリしています。大きくなった大豆が蒸し上がると、いよいよ子ども達の出番です。しゃもじを一生懸命握って豆を潰すことに必死になり、「全然潰れない」と悪戦苦闘しながらも潰し、麴と混ぜ合わせ容器に入れます。出来上がりは1月。それまでの間、幼稚園の倉庫で寝かせておきます。

できあがった味噌は、1月のスマイルデー（父親参観日）で豚汁に変身です。味噌作りを通して、作る過程から出来るまでに努力と時間が必要であることに気づき、実感する事ができました。自分たちで作った味噌での豚汁を、親子で美味しく食べている姿は、とても微笑ましいです。今年の味噌ももうすでに容器の中で眠っています。どんな味に出来るのか今から楽しみます。

畑サークル「ベジサンタ」

当園では、食育の一環として愛知牧場にある愛牧ファーム内に畑を借りて季節の野菜を栽培してい

ます。ただ、どう頑張っても園児と職員だけの力で畑の維持をしていくのは難しく、困っていたところ、土いじりが大好きな保護者有志の方々が協力してくださることになり、畑サークルが始まりました。昨年11月からは、「ベジサンタ」という可愛いサークル名もついて、メンバーも少しずつ増えてきています。

「ベジサンタ」の名前の由来は、ベジタブル（野菜）を美味しく子ども達に届けるサンタの略です。そのお届け方法は、収穫時期を迎えた野菜が食べごろになるとその都度ベジサンタさんたちからお知らせがくることになっていきます。野菜の食べごろに待ったはありません。お知らせを聞いた子ども達はクラス単位で園バスに乗って畑に行き、旬の野菜を収穫します。その場で味見できるものは味見をし、その後収穫物を幼稚園へ持ち帰り、待つていた園児みんなで食べるという形です。

昨年は、きゅうり・プチトマト・ジャガイモ・枝豆・カリフラワー・十六ささげなどを収穫し、みんなで味わうことができました。今年5月には、青梗菜・サニーレタスを収穫しました。収穫を通して子ども達は、収穫が出来る喜び・

収穫をしてすぐに味わう事が出来る恵み・たくさんの命を頂いて大きく成長しているのを感じています。

子ども達がこれからも野菜を美味しいと感じ、好きになっていくようにと願いを込めて野菜作りに協力して下さっているベジサンタの方々のご奉仕に心より感謝いたします。

自園給食を初めて今年で6年目。子ども達はいよいよ匂いにする園内で朝から給食を楽しみにしています。地産池消を大切にした給食とマーガレットファームの野菜を美味しくいただくことで子ども達は野菜が大好きになっていきます。この園で多くの恵みに出会える環境が与えられていることに改めて感謝しています。

主任 林 知子



きゅうり収穫



ベジサンタ畑作業



味噌作り



作った味噌で豚汁パーティー

2013年度 会計報告

資金収支状況

(単位：千円)

	科目	2012年	2013年
収入の部	学生生徒等納付金収入	606,335	624,407
	手数料収入	14,148	13,355
	寄付金収入	8,579	9,014
	補助金収入	226,724	330,652
	資産運用収入	8,058	5,075
	資産売却収入	1,157,719	1,014,036
	事業収入	44,418	44,156
	雑収入	34,359	2,190
	前受金収入	70,965	63,810
	その他の収入	22,958	42,654
	資金収入調整勘定	△ 103,120	△ 182,296
	前年度繰越支払資金	1,264,847	1,398,507
	収入の部合計	3,355,990	3,365,560
	支出の部	人件費支出	518,200
教育研究経費支出		170,616	170,926
管理経費支出		53,751	59,865
借入金等利息支出		1,107	952
借入金等返済支出		9,270	9,270
施設関係支出		10,876	240,971
設備関係支出		37,701	14,792
資産運用支出		1,153,861	1,013,647
その他の支出		17,475	14,576
資金支出調整勘定		△ 15,374	△ 16,356
次年度繰越支払資金		1,398,507	1,375,147
支出の部合計	3,355,990	3,365,560	

[2013年度決算概況]

- 資金収支状況：学生数の増加により授業料収入が増加しました。補助金収入の増加額は短大部門の3号館新築工事補助金とそれ以外の補助金です。幼稚園3園において若干減少しました。支出の部では3号館新築に伴う、施設関係支出が大幅に増加しました。
- 消費収支状況：帰属収入が前年比8千9百万円増額です。基本金組入額が大幅な増加になりましたが、短大部門3号館建設、教育機器等の増加によるものです。資産処分差額の増大はマンションの解体処分によるものです。
- 貸借対照表：総資産は1億5千6百万円の増加となりました。固定資産及び基本金の増加は建物資産、構築物資産の取得によります。

[学院：帰属収支差額の経年変化]

- 帰属収入：学生生徒等納付金、補助金などの学校法人の負債とならない収入
- 消費支出：人件費、消耗品費、光熱水費などの消費する支出
- 帰属収支差額：帰属収入 - 消費支出。帰属収支差額比率は高いほど、自己資本が充実していることを示す。少なくとも10%以上が望ましい。

消費収支状況

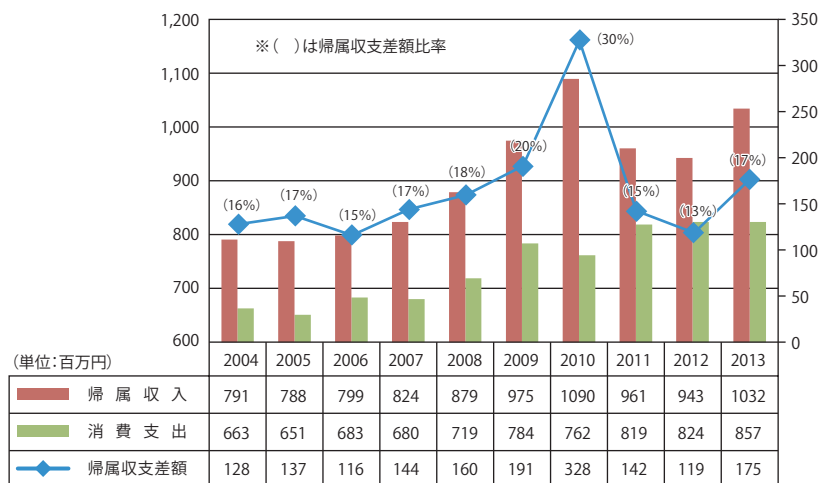
(単位：千円)

	科目	2012年	2013年
消費収入の部	学生生徒等納付金	606,335	624,407
	手数料	14,148	13,355
	寄付金	8,981	9,805
	補助金	226,724	330,652
	資産運用収入	8,058	5,075
	事業収入	44,418	44,156
	雑収入	34,359	4,849
	帰属収入合計	943,023	1,032,299
	基本金組入額合計	△ 8,410	△ 219,630
	消費収入の部合計	934,613	812,669
消費支出の部	人件費	520,849	481,524
	教育研究経費	238,985	242,882
	管理経費	57,737	61,945
	借入金等利息	1,107	952
	資産処分差額	6,115	70,016
	徴収不能引当金繰入額	0	0
	消費支出の部合計	824,792	857,319
	当年度消費収入超過額	109,820	0
	当年度消費支出超過額	0	44,651
	前年度繰越消費収入超過額		134,409
前年度繰越消費支出超過額	20,587	0	
基本金取崩額	45,176	491	
翌年度繰越消費収入超過額	134,409	90,249	
翌年度繰越消費支出超過額	0	0	

貸借対照表の推移

(単位：千円)

	科目	2012年	2013年
資産の部	固定資産	2,341,734	2,452,556
	流動資産	1,441,976	1,487,966
	(内、預金)	1,398,507	1,375,147
	資産の部 合計	3,783,710	3,940,522
負債の部	固定負債	197,612	185,437
	(内、借入金)	51,180	41,910
	流動負債	97,020	91,027
	負債の部 合計	294,632	276,464
基本金の部合計	3,354,669	3,573,809	
消費収支差額の部合計	134,409	90,249	
負債・基本金・および消費収支差額合計	3,783,710	3,940,522	



新任教職員紹介

就任にあたっての抱負

短期大学

◆短大教務課 相川記久恵



今年度より短期大学教務課で、特任職員として働かせていただくことになりました。

これまで派遣職員・臨時職員として、教務課で働かせていただいております。これまでと同じ教務課員ではありますが、今年度より気持ちを持って、これまでに以上に責任を持って、何事にも取り組んでまいりたいと思っております。窓口でたくさん「ありがとうございます」が聞けるよう頑張ります。今後ともご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

◆法人事務局 岩田 牧夫



私の知人からは、年配の方から若い方まで、柳城出身の方々がたくさんおられます。そしてどなたも素晴らしい人間性を持っており、また皆さんから柳城の素晴らしさと伝統をお聞きしていました。今回その柳城でお仕事をさせていただくことになり心から嬉しく思っております。私は

今まで学校教育とは違う仕事をしてきましたが、本当に重要なことは教育であると考えてようになりました。特に本学は、建学の精神を116年に渡ってしっかりと実践してきました。このすばらしい学校で働けることを感謝します。今まで培ってきた経験を少しでも柳城で役立てたいと思っております。

附属幼稚園

◆柳城幼稚園 主任 鍋谷 貴子



今年度より新しく柳城幼稚園の仲間に加わらせて頂きました。母校の附属幼稚園で働く道へ導いてくださった神様に感謝しています。そして、元気で笑顔が素敵な子どもたちと先生方に出会えたことをとてもうれしく思っています。卒業してから、出会った子どもたちが、いろいろなことを私に教えてくれたように思います。様々な子どもの姿にこれからも出会えることを楽しみにしています。ひとりひとりの存在を大切に、先生方と力を合わせて、キリスト教保育を探求していきたいと思っております。どうぞよろしくお

願い致します。

◆柳城幼稚園 教諭 伊藤 沙恵



今年度より、附属柳城幼稚園に勤めさせていただけ

くこととなりました。就任前に2年間程、預かり保育でアルバイトをさせていただき子どもと触れ合える時間の大切さや保育の楽しさを改めて学ばせていただきました。そのような保育を行う上で当たり前のことを教えていただいた園で子どもと関わりたいと思うようになり、念願が叶った今、大変嬉しく思っております。優しい先生方に囲まれ、憧れた先生方のような保育者になれるよう努力を重ねてまいります。

◆三好丘聖マーガレット幼稚園 教諭 細野 悠司



年長ほし組担任の細野悠司です。男性という立場

で、保育の世界に飛び込むのは中々、勇気のいる事でしたが、現在こうして憧れの職業に就けている事を想うと、本当に幸せな気持ちになります。日々の先生方のご指導、保護者の方の温かい眼差しに感謝する事を忘れず、自身の長所であるユーモラスな性格を生かして、子どもたちを笑顔にしてい

きます。今後も、まず自分が楽しむ事を心がけながら子どもと接し、充実した日々を送れるよう、精進していきたいです。

園長就任にあたっての抱負

◆柳城幼稚園 園長 織田 純代



柳城を卒業して30年余り、保育者として子どもたちと

共に歩んで参りましたが、この度柳城幼稚園の園長として働かせていただくことになりました。時代は流れ社会環境が変化する中、柳城が変わらずに大切にしてきたものを再確認しつつ、お隣のマルコ教会と協働しながら、キリスト教保育の充実を目指して参りたいと思っております。歴史あるこの園で、創立者マーガレット・ヤング先生の思いと、幼子たちの為にこの地で働かれた諸先輩方の思いを汚すことのないよう精一杯努力して参りたいと思っております。

◆三好丘聖マーガレット幼稚園 園長 児玉 文字



決して真面目なクリスチャンではありませんが、そんな私を神様は30年間勤めた一宮聖光幼稚園から三好丘聖マーガ

レット幼稚園へと招いてくださいました。柳城学院の一員になれたこと、マーガレット・ヤング先生のお名前をいただいたこの素敵な園で勤めさせていただくことを光栄に思います。大変微力ではありますが、神様のお声に耳を傾けつつ、力と心を尽くしていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

退職にあたって

◆短大講師 小島千恵子



私事、3月末日をもって柳城学院を退職させていただきます。

名古屋柳城短期大学の専任講師を拝命して2年半お世話になりました。非常勤講師でお世話になったことも合わせると5年、元気で明るく人懐こい柳城生と過ごしたことになります。非常勤講師依頼をいただいて、初めて柳城の門をくぐった時、すれ違う学生たちは、皆にこやかな笑顔で「こんにちは」と声をかけてくれました。私の緊張感はこの挨拶で解れ、肩の力が抜けたことを覚えております。今また、非常勤講師として1週間に2回柳城の門をくぐります。「先生、こんにちは」と、遠くから手を振って駆け寄ってくる学生の姿に、当時の私を重ね合わせ、初心に返ってワクワク、ドキ

ドキする自分を見つけています。2年半いや、5年間本当にありがとうございます。そしてまた、よろしくお願いいたします。



◆柳城幼稚園 園長 中野 早苗

11年前、このような自分でも、少しでも母校のお役にたてるのなと思い、歴史ある柳城幼稚園の園長を引き受けさせていただきました。

身体も丈夫とは言えない私は、「とにかく3年間だけは健康で働かせて下さい。後はどんな大きな病気になっても良いですから」と神さまに祈りながらの日々でしたが、大学の先生方、大先輩、保護者の皆さま、若い先生たちにも助けられて、勤めることが出来、感謝です。

そして何より、かわいい幼子たちから祈ることの大切さを教えてもらいました。柳城学院の発展と附属幼稚園の先生方のご活躍をお祈りしています。

◆三好丘聖マーガレット幼稚園

園長 平松ちづ代



この3月をもちまして10年間お世話になりました附属三好丘聖マーガレット幼稚園を

定年退職いたしました。新任の園も附属瑞穂幼稚園でしたから柳城女子短期大学で保育を学び、附属幼稚園で先生として育てて頂きました。短大に入学してキリスト教に出会い、神さまを信じました。柳城で出会った多くの方々の生き方が、私の人生にいろいろな影響を与えて下さいました。学長だった西原新一先生の敬愛幼稚園でも働かせて頂き、長くキリスト教保育に携わることで、保育を通して大切な事を沢山学ばせて頂きました。本当に幸せだったと感謝の思いで溢れます。有難うございました。

◆短大経理課 阿部 力治



私事都合により5月末に退職いたしました。4年3

ヶ月の短い期間でしたが、皆様と出会えたこと、仕事を共にしたことと感謝しています。殊に学院内で学生と会うと挨拶をしてくれます。元気な朝夕の挨拶は気持ち豊かにしてくれました。チャペルでの水曜礼拝に何度か参加しましたが、学生たちと職員で神を賛美する機会に恵まれ、業務の合間における素敵な気分転換のひとつとできてました。主に感謝。

柳城祭

2013年度の柳城祭は「ENDLESS」～輝く笑顔～というテーマを掲げて例年通り11月2日、3日に開催された。1日目は学内のみの柳城生のためのお祭り、2日目は一般公開日として大いに賑わった。2日目は数多くの本学主催のイベントと学生自主企画とで大変な過密スケジュールの中での開催となった。天候にも恵まれ多くのお客様を迎え全学を上げて渾身の一大行事であった。学生たちは保育者の大きな資質の一つとして全員で協力し合い一つのものを作り上げるといういい経験をしていると確信している。2年生にとっては一生の思い出として、1年生にとっては次年度の柳城祭を構想しながらの充実した2日間であった。3日目は恒例の全学そろっての構内大清掃が実施された。春の学外合同ゼミナールとともにこの柳城祭も学生生活の良い起爆剤となっていることを確信している。



りゅうじょうこどもフェスタ



卒業生も近所の方も大人も子どもも今や楽しみにしてくださっている「りゅうじょうこどもフェスタ」。柳城生の学びの集大成とも言える通称「フェスタ!」は、'13年度も造形表現、音楽表現、身体表現それぞれのセクションが思い切り魅せました。造形表現は「作ってあそんでパフォーマンス」と題して大型絵本の作成、読み聞かせ、段ボールハウスを製作するなど、子どもたちと遊べるブースを設置。音楽表現は昨年に引き続きオペラ「森は生きている」を柳城バージョンにして上演、身体表現は「そらとぶパンがま」「にんじんばたけのパピブペポ」の絵本2作品を劇に仕立てました。

来場者全員が短い時間ではありましたが、柳城生と一体となって楽しんでくださっていました。回を重ねる度に来場する子どもの数が増えて、子どもたちの生の反応を見ることができ、学生たちの学びも一段と大きなものになっています。

今年度も11月3日(文化の日)柳城祭との合同開催です。皆さんのお越しを心からお待ちしております。ご近所の方、同窓生の方、お友達、みなさんでお誘い合わせの上お越しください。小さなお子様大歓迎です。

オープンキャンパスで 名古屋柳城短期大学を 体験してみよう!

本年度は、7月12日(土)、8月23日(土)、11月3日(祝)の3回、オープンキャンパスを開催します。

7月と8月は、入試内容についての説明、学生の体験発表、模擬講義、子どもの遊びやチャペル体験、相談コーナー等を、11月は学校祭と同時開催で、校内自由見学や個別相談を予定しています。また、7月はAO入試説明会、8月と11月は公募制推薦B入試対策講座を実施

します。さらに、保護者対象の説明会を開催していますので、保護者の方のお越しもお待ちしております。

当日は、本学の大勢の学生がお越しいただいた方々をサポートします。

柳城の明るいアットホームな雰囲気を肌で感じていただける絶好の機会です。保育を志す方々のお越しをお待ちしています。また、日曜、祝日以外ではいつでもご見学、ご相談に応じています。この「学校見学」の申し込みが、パソコンや携帯から本学のホームページにアクセスして24時間、いつでも申し込みが可能になりました。是非、活用して、お気軽にご来校ください。

(お問い合わせ先) 入試広報課 TEL: 052-848-8281 (ダイヤルイン)

2015オープンキャンパス情報

見て・聞いて・話して・感じてください 柳城を!!

第2回

7月12日(土)

いずれも 13:00 ~ 16:00

第3回

8月23日(土)

柳城祭
同時開催

第4回

11月3日(祝)

10:00 ~ 15:00

主な当日の内容

- 学生の体験発表 (7月12日・8月23日実施)
- 模擬講義
- 造形あそび体験・紙芝居を楽しもう!
- 就職や入試、学生生活相談コーナー
- AO入試説明会 (7月13日のみ実施)
- 公募制推薦B入試対策講座 (8月23日・11月3日実施)
- 保護者対象説明会 (7月12日・8月23日実施)



表彰式 特別給付奨学金

平成25年度より施行された特別給付奨学金が本年度で2年目を迎えます。1年生学年末時の成績優秀者10名に給付型奨励奨学金が送られました。学業を頑張った学生が在校生の見本になるようにあえて全学生の前で表彰されます。表彰式は6月18日の合同礼拝の時に同時に行われました。表彰の学生は喜びを全身に表現しながら頑張った成果を実感し、満面な笑みを浮かべていました。次回の表彰者は誰になるのか又楽しみが増えました。

(学生生活委員長 野々垣文成)

特別給付奨学金 1年次奨励奨学生 (25生)

認定学生

学籍番号	氏名
25C03	池田 奈恵
25B13	荻山このみ
25C45	阪野 有里
25C29	志水はるか
25C30	杉村 繭
25C33	寺野 晴香
25D03	石川 桃香
25D06	加藤 惟奈
25D10	服部さくら
25C09	大石 幸奈